

「八戸LNG基地向け 内航LNG専用船竣工について」

新日本石油(株)の内航LNG船としては初となる「鶴令丸(かくれいまる)(所有・運航:鶴見サンマリン(株))」が2008年11月に竣工した。本船は、檜垣造船(株)ならびに川崎造船(株)が2007年6月より、約1年半をかけて建造したもので、東京ガス(株)袖ヶ浦工場(千葉県)から当社の八戸LNG基地(青森県八戸市)へLNGを配送する専用船として就航し、12月2日に八戸港に初入港した。

本船はこの日早朝に入港後、初めての荷揚げを行ったが、船側および基地側関係者の連携によりスムーズに荷役作業を完了し、翌朝無事に八戸港を出航した。

鶴令丸は運航中のボイルオフガス(BOG)の処理が不能となる蓄圧式低温タンク、離着岸時の安全操船を確保するバウスラスタ、可変ピッチ、シリングラダーなどを装備した最新鋭船であり、LNGの安全で効率的な輸送・荷役に大きく貢献するものと期待されている。

北東北3県(青森・岩手・秋田)においても環境特性に優れた天然ガスへのニーズが高まっており、都市ガス各社や産業需要家の需要増大が見込まれている。今般の鶴令丸の就航により、当社は同地域へのLNGの安定供給体制を確立し、総合エネルギー企業として地域振興に貢献して行く。

(ガス事業部 天然ガスプロジェクトグループ 脇元 和征)

【鶴令丸 概要】

1. 所有・運航	鶴見サンマリン株式会社
2. 設備	<ul style="list-style-type: none"> ・全長×全幅 86m × 15m ・タンク容量 2,500m³ (約 1,050トン)

【八戸LNG基地 概要】

1. 所在地	青森県八戸市大字河原木字宇兵衛河原8番3号(当社八戸油槽所跡地)
2. 敷地面積	約 2 万 m ²
3. 設備	<ul style="list-style-type: none"> ・貯蔵設備 LNGタンク (4,500KL × 1 基) ・受入設備 専用岸壁 (全長 150 m) ・気化設備 毎時 2トン × 3 基 ・払出設備 LNGローリー積載ゲート 3 レーン
4. 供給能力	年間約 6 万トン (LNG 換算)



鶴令丸



八戸LNG基地への荷揚げ作業